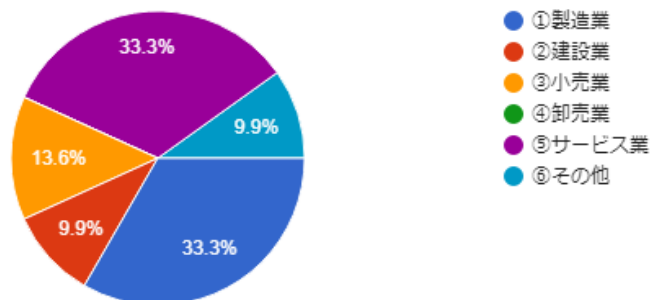


## 平成 30 年度 定点景況調査【6 月分】

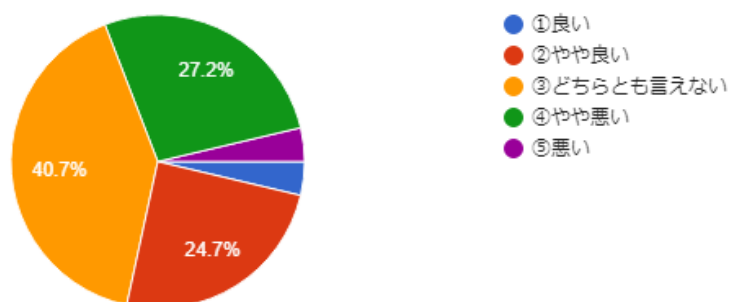
### 業種

81 件の回答



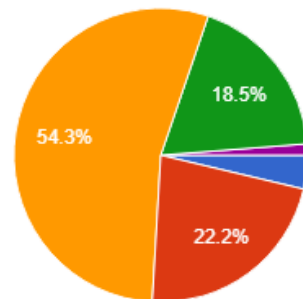
### 1. 今月の景気

81 件の回答



## 2. 今後2〜3カ月先は良くなると思うか

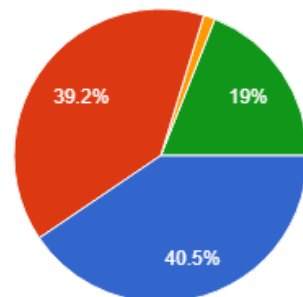
81件の回答



- ①良くなる
- ②やや良くなる
- ③変わらない
- ④やや悪くなる
- ⑤悪くなる

## 上記1、2のようになると思われたのはなぜか

79件の回答



- ①客数の動き
- ②受注量・価格の動き
- ③同業他社の動き
- ④取引先の動き
- ⑤求人数の動き

## 上記1、2のようになると思われた理由 6件の回答

客数が例年より減っている(旅客バス運送業)

客数の動きは横ばい。景気反映か?(タクシー業)

受注が減少気味(自動車整備業)

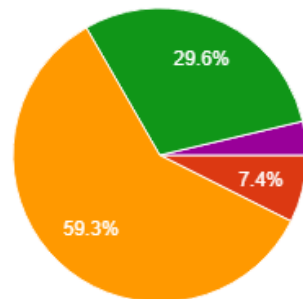
利用客の動きは横ばい(鉄道業)

TV放映の影響で例年より来客数が多い。(養蜂業)

受注量が激減(金属部品製造業)

#### 4. 周り（自身を含め）の消費意欲

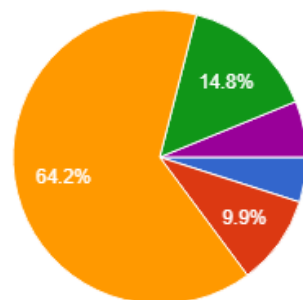
81 件の回答



- ①高い
- ②やや高い
- ③変わらない
- ④やや冷え込んでいる
- ⑤全く冷え込んでいる

#### 5. 自社の資金繰りは順調と思われるか

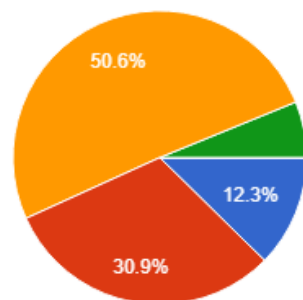
81 件の回答



- ①良い
- ②やや良い
| ③変わらない | 64.2% |
- ④やや悪い
- ⑤悪い

#### 6. 自社の従業員の過不足感

81 件の回答



- ①不足している
- ②やや不足している
- ③ちょうど良い
- ④やや過剰
- ⑤過剰

## 7. 自社の経営上の問題点や困っていること等 48 件の回答

若年労働者が同業種にこない(建設業)

学校関係の受注件数が年々減っている。児童数の減少により1年毎の行事を2年おきにする所も出てきている。5月に求人広告を3社に出したが全く問い合わせがない。東末広町(東小前)交差点の右折信号矢印が短く2台しか動かない。(旅客バス運送業)

人手不足、事業承継(吸収合併も視野)規制強化で車の台数を増やせない(タクシー業)

技術者が不足している(養蜂業)

気温が低い日が多く売上数が減っている(自販機飲料販売業)

木工団地「青空市」の来場者は増加、しかしイベント全体の売上金額は減少。個人消費は回復できていないのでは？(共同事業組合)

新卒が入社してほしい(建築設計業)

受注量は変化なし、だが仕入単価の増加懸念継続。人手不足が慢性化。技術者の承継に関し今後の課題へ(金属製品製造業)

若手技術者不足(木工業)

6月の受注が例年より悪かったため7月からは回復の見込み。若手人材不足。従業員の高齢化5年後の対応が課題(木工業)

取引先の動きは先が見えない。神棚は受注増の傾向、反面建具は売上減少(木工業)

新規契約が増えない(新聞販売業)

受注量は上向き(建設業)

契約は増加(生保業)

受注は良好(システムサポート業)

資金繰りが不安(飲食業)

6月は父の日ギフト需要で客数が増加した。しかし夏のギフトは、昨年業界全体で落ち込んだので期待がもてない(酒販業)

受注量は増加しているが依然人材不足(金属加工業)

取引先の動きが順調(製造業)

季節的なものもあり客足は鈍い(洋菓子製造販売業)

客数の動きが鈍い(飲食業)

夏場は例年売上が10%程度減少するので厳しい予想(茶小売業)

客数に大きな変化なし(婦人服小売業)

BBQ 設備利用で、客数が増加(飲食業)

例年夏季は客足が鈍い(飲食業)

例年夏場は客数が伸びる(飲食業/焼肉)

客数の動きが不安定なためキャッシュフローが不安(美容業)

取引先や同業者が、閑散期の受注減に伴い生産調整を始めた。周辺に大型ホームセンターがオープン予定しているが人材確保を苦戦している様子(園芸用土製造業)

個場整備(土壌改良等)で出荷できるものがなくなる。大雪被害時の借入金が増えすぎ返済に苦慮している。借換または1本化して日々の負担を減らしたい。イベント等に出店すると売上はあるが人手不足で先々の計画が立てられない(トマト生産販売業)

中元ギフト用商品需要が20%減少。従業員募集に対しての反応は良いが面接までして断られることが多い。重労働とされている(トマト生産販売業)

6月で出荷ピークは過ぎたが売掛の回収が悪く資金繰り難。培養土のピークは過ぎたが原料をいまだに買い取っている同業者がいる。当社にも商談があったが、とても安い単価だった。業界全体の価格崩壊にならないか心配(園芸用土製造業)

新規の問い合わせが増えた。広告費などの資金繰り(パソコン教室)

年間で受注が一番落ち込む時期だが秋口からの引合は良好。園芸ガーデニング関連がやや落ち込んでいる様子、県内のホームセンターも同部門の売場縮小が目立っている。パワーコメリは早くも早期撤退の噂を聞いているが花木センターとのシナジー効果を期待(園芸用土製造業)

海外での需要は高まっているが国内は横ばい。貿易部門のスタッフが不足。若い世代の就業定着が悪すぎる。オープンファクトリーは意外にも「土」に興味を持っている人が多く、初めて見たという人もいた、地場産業といっても知られていないことが多い。(園芸用土製造業)

取引先からの急な受注対応で在庫がなくなった。園芸関連は趣味的な要素が益々強まっている。若い人の中でもミニ盆栽等の人気は聞いているが土を使っただけの園芸は年々減少傾向、ホームセンター等での園芸アイテムも減少している。(園芸用土製造業)

秋までは大きな受注は期待できない。さつき祭り期間の来客は増えているが購入にはつながらない。希少種の植物需要は高まっているが手に入りにくいものが多い、ライバル業者がふえているのでは？(草花生産業)